

研究タイトル:

## 個人の認知特性に応じた支援技術の開発研究



氏名:	小越 咲子 / OGOSHI Sakiko	E-mail:	ogoshi@fukui.kosen-ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	電子情報通信学会, IEEE, ACM, 日本設備管理学会		
キーワード:	福祉工学, 個別教育支援, アシスティブテクノロジー, ICT, BMI(Brain Machine Interface)		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の認知特性に応じた支援技術とその周りの支援者、家族も含めた支援技術</li> <li>・福祉工学・個人の認知特性に応じた教育支援技術とその評価</li> <li>・AI 関連、画像解析関連、ビッグデータ解析関連</li> </ul>		

### 研究内容:

・認知科学の観点から人を支援するシステムの研究開発を行っています。

生体情報(脳波、筋電等)、行動情報(ライフログ:GPS 情報や画像情報等から得られた行動情報)、学習情報(ソーシャルスキルトレーニング等を含む広義の学習)の3つの観点から個人特性の把握を行います。

これら情報から人の個人特性、好み、生活パターン等の情報を分析、抽出し、それぞれの目的に合った支援システムの開発を行います。

#### 研究テーマ

##### ①個人特性に応じた教育支援システムの開発

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000654735.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000654735.pdf)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/bplus/16/3/16\\_197/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/bplus/16/3/16_197/_pdf/-char/ja)

個人特性に応じた支援システム開発について福井大学、企業、放課後等デイサービスと連携して行っています。

例: 特許技術(特許第7247432号)とLLMとRAGを用いた、個人特性に応じた支援計画案の生成。

##### ②人を支援するサポートシステムの開発

IoTを用いた支援機器の開発を行い、生体、行動、学習の3点から評価を行っています。

例えばコミュニケーションを行いながら人を支援するシステムや、学習システム、音楽やアロマ、ハーブティー・薬茶等でリラックスする支援機器の開発、触覚や視覚等の感覚刺激を用いて学ぶ教材の研究開発、睡眠支援システムの開発研究等を行っています。

##### ③植物の栽培環境、画像を用いた品質評価研究等

越前和紙で用いるトロロアオイ等の生薬植物の栽培に関する研究を行っています。

生薬の品質評価の研究を行っています。